

【新刊情報】広告・コミュニケーション関係者必見！本質をおさえる一冊

広告をナメたらアカンよ。

そこにはいつも「ホント」があらわれる。

9月1日より全国の書店で発売！！

発売前に
重版決定！

株式会社宣伝会議（東京都港区、代表取締役 東彦弥）は、9月1日より新刊書籍『広告をナメたらアカンよ。』（1700円+税）を全国の書店およびAmazonで発売いたします。発売にあたり、書籍の紹介や著者である山本高史氏への取材・出演依頼などを受け付けています。ぜひご連絡くださいませ。

広告にはいつも「ホント」があらわれる。

「男は黙ってサッポロビール」「そうだ 京都、行こう。」「愛だろ、愛っ。」「想像力と数百円」「あなたが気づけばマナーは変わる。」「みんながみんな英雄。」など…

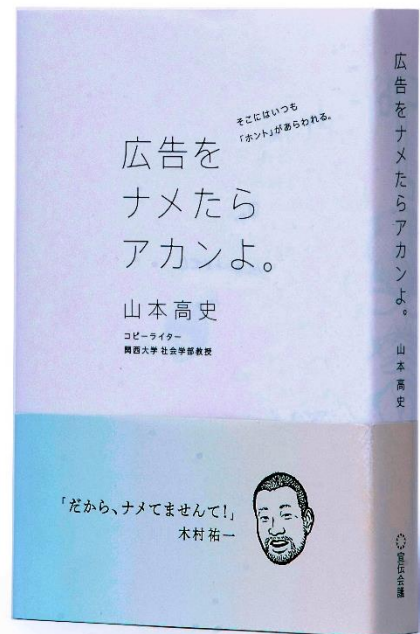
名作コピーを紐解き、広告を読むことで見えてくる「時代／社会／人間」。そこにはいつもコミュニケーションの本質があらわれる。「言葉の専門家」でもある著者が語る、渾身の広告・コミュニケーション論！



山本高史 著

コピーライター／
関西大学 社会学部 教授

1961年京都府生まれ。1985年大阪大学 文学部卒。同年電通に入社。数多くのキャンペーン広告を手がける。2006年12月、電通を退社。コトバ設立。オリンパス「ココロとカラダ」、にんげんのぜんぶ」、三井住友海上「未来は、希望と不安で、できている。」、JR東日本「Suica」、トヨタ自動車、サントリー、資生堂、麒麟ビール、キュービー、S&B、MS&AD、よしもとクリエイティブ・エージェンシー、インベスターズクラウド、カメヤマなど数多くの広告を手がける。



<https://www.amazon.co.jp/dp/4883353532>

例えば、「モテない男子」か。
A子ちゃんが新聞を開いたら、広告がある。
「私、記事くんの意見が聞きたいんだけど、広告くん、なんでそこにいるの？」
B子ちゃんがテレビをつけたら、広告が流れている。
「あれ？ 広告くんも来たの？ 呼んでないんだけど。私、バラエティくんと遊びたいんだけど？」
早い話が、「広告くん、どっか行ってよ」ということだ。
彼女とバラエティくんと楽しい時間は、広告くんがお金を払っているのだが。
（「はじめに対談」より）
ホントはそうじゃないんだけどなあ。

【本件に関するお問い合わせ先】（表紙画像のご提供、著者への取材などご連絡ください）

株式会社宣伝会議 編集部（担当：鈴木）

TEL.03-3475-7661 メール：yhi12-suzuki@sendenkaigi.co.jp

〒107-8550 東京都港区南青山3丁目11番13号 新青山東急ビル9階

www.sendenkaigi.com